

## コメリ災害対策センターと

### 物資供給に関する協定を締結

町とNPO法人コメリ災害対策センター（理事長 雄一郎理事長）は、『災害時における物資供給に関する協定』を6月17日に締結しました。

協定では、災害発生時に双方が協力して被災地に物資を迅速かつ円滑に供給することを目的とし、町の要請に応じて、

同センターが毛布や飲料水、懐中電灯などの供給や運搬を行うほか、平常時には相互の連絡体制や物資供給についての情報交換などを行います。

同センターによる自治体などとの協定としては、全国で953例目、道内では26例目の締結になります。



## 地場産食材を使用した

### 学校給食を提供

新型コロナウイルスの影響により地場産食材の消費が減少する中、生産者支援や食育の推進を目的として、6月22日に

町内小・中学校の給食で、「みついし牛」やしない産米の「万馬券」を使ったカレーライスが提供され、児童・生徒が地場産食材を味わいました。

児童らは「全部おいしい。お肉が柔らかくておいしかった」と笑顔で話しました。

今後は来年2月までの月1回、カレーライスのほか、牛丼やピーフシチューなどのメニューが提供されます。



## 花き・ミニトマト農業体験

町農業振興対策協議会主催による農業体験が、7月1日、2日の両日、農業実習センターおよび静内ハウス団地で行われ、地域の農家で働きたい方や移住体験者など7人が参加しました。

この事業は、地域産業の理解を深めてもら

い、労働者不足の解消を目的として毎年開かれており、体験では、デルフィニウムの収穫や選花、ミニトマトの収穫などが行われました。

参加者は「短時間で働ける仕事があればと思います。思った以上に楽しかったです」と話しました。



